

北 見 商 工 会 議 所

機関名	北見商工会議所		
所在地	北海道北見市北3条東1丁目		
電話番号	0157-23-4111		
地域概要	(1)管内人口 33万5千人	(2)管内商店街数	- 商店街
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 4 商店街	(2)会員数	220 商店
商店街の類型	(3)空店舗率 15 %	(4)大型店空き店舗	1店
	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成12年度	空き店舗対策事業	ハートフルまちづくり実験（カフェ） チャレンジミニショップ、イベント
	総事業費	15,140千円

【事業実施内容】

1. 背景

北見市は北海道の東部、オホーツク地域の産業・経済・文化の中心都市であり、また、当市はオホーツク圏の交流拠点都市として広域的な役割を担っているが、近年、都市部の定住人口の現象、市街地の外延的拡大とモータリゼーションの進展、消費者ニーズの多様化等から、郊外型の大型店・ロードサイド型店舗の進出が増加している。

中心市街地では空き店舗の発生、居住人口の減少といった空洞化現象が顕著となり、このままでは中心市街地の衰退が進行し、危機的な状況となることが必至となった。

このような状況に鑑み、平成10年度策定の中心市街地活性化基本構想の中で、空き店舗を活用し商店街全体の活性化を図る必要性が唱えられており、人々が集い、憩え、楽しめる商店街形成が必要であり、イベント等で出来る空間の確保と持続するソフト事業への取り組みが期待されている。商店街や個店の情報提供、チャレンジショップや各種イベントの実施、市民の憩いの場の確保等空き店舗を活用した商店街等活性化先進事業を実施した。



北海道における北見市の位置

2. 事業内容

(1) 総事業費：1,514 万円

(2) 事業内容

1) 期 間：平成 12 年 8 月 5 日～平成 13 年 3 月 31 日

2) 対象商店街名：大通商店街、一番街商店街、二番街商店街、銀座商店街

3) 実施内容・方法等

事業実施にあたっては、運営委員会の下部組織として実験事業部会を設置し事業計画を立て事業を遂行した。



北見市中心市街地の地図

(3) ハートフルまちづくり実験事業

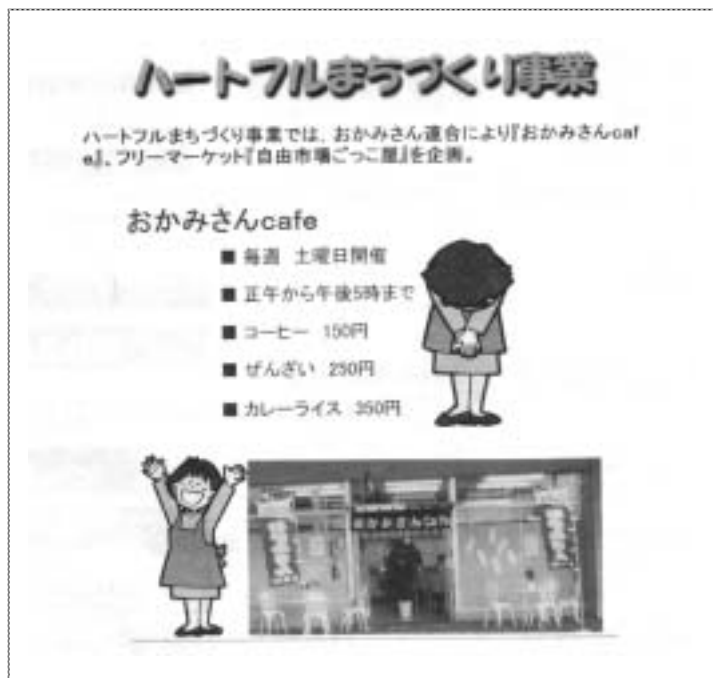
1) おかみさんカフェの運営

期 間：平成 12 年 8 月 5 日～平成 13 年 3 月 24 日

毎週土曜日 正午・午後 5 時まで営業

実施内容：商店街の女性と事業部会の委員が協力して気軽にお休み頂き、手作り食事や飲み物を手ごろな価格で提供する喫茶店を開店した。おかみさんカレー、おかみさんぜんざい、うどん、そば、コーヒー、ジュース、アンマン、肉まん等のメニューで営業し、期間中 2,962 名の来店(利用)があった。

右：おかみさん cafe のポスター



2) フリーマーケットの自由市場ごっこ屋の運営

期 間：平成 12 年 8 月 5 日～11 月 25 日

毎月第2・第4土曜日 午前11時から午後3時まで開催

実施内容：出店者を募集し「自由市場ごっこ屋」としてフリーマーケットを開催した。

8月5日	10店	10月14日	5店
8月26日	6店	10月28日	6店
9月9日	6店	11月11日	6店
9月23日	2店	11月25日	6店

(4) チャレンジミニショップ等実験事業

1) チャレンジミニショップの運営

期 間：平成12年8月26日～平成13年3月31日

営業時間 正午～午後9時 定休日 毎週火曜日

チャレンジショップの内部



実施内容：1店舗のなかでミニショップ(面積2坪)を営業する3名を募集した結果、

11名の応募があり事業部会で面接し、3名の出店者を決定した。(1名辞退)

ビーチ：サーフボード、ハワイアン雑貨、サーフ関連アイテム

(経営者 榎本 洋さん 25歳)

リブフォーブレイブ：シルバーアクセサリ、ハンドメイド革製品、民族雑貨

(経営者 山本 恭治さん 24歳)

フラック：オリジナルアクセサリ

(経営者 門間 美樹さん 26歳)

2) チャレンジウィクリ ショップの運営

期 間：平成12年9月27日～平成13年3月30日

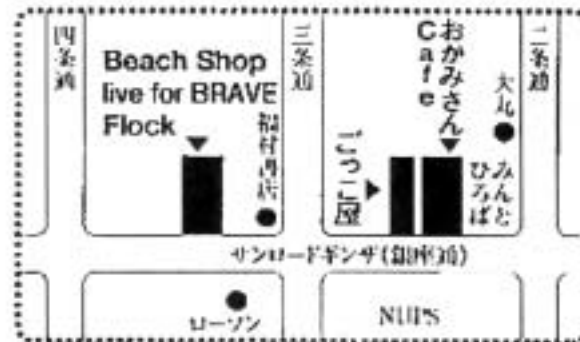
営業時間 午前10時～午後6時

実施内容：1週間単位のチャレンジミニショップを募集し、応募のあった5名の方が2グループで営業した。

1週間単位で開催 荒木さん、旭さん～絵画、工芸品、衣料品等
大西さん～ミンクのキーホルダー、レコード

栄坂さん～衣料品
仲野さん～古本、レコード、玩具、雑貨

おかみさんc a f e や
チャレンジショップ
の出店場所



3) イベントの開催

開催期日：平成 12 年 9 月 14 日及び平成 13 年 2 月 11 日

実施内容：空き店舗を活用し、中心商店街に集客し賑わいを演出するためイベントを開催した。

- ・カーナビラジオ中継及びもんすけショップの開催
カーナビラジオ中継 9月14日(木) 正午から1時
もんすけショップ 9月14日(木) 午前10時～午後6時
- ・氷川きよしサイン会の実施
2月11日(日) 午前10時30分～11時
「みんとひろば」でサイン会実施

(4) 中心街情報センター実験事業

1) ポータルサイト K-mint の運営

期 間：平成 12 年 8 月 26 日～平成 13 年 3 月 31 日

実施内容：商店街の情報や飲食店やイベント情報、北見市や商工会議所、観光協会等幅広く情報を提供できるホームページ作成。みんとひろばにパソコンを設置し市民のかたがたに自由に情報を見てもらおうコーナーを設置した。

K-mint 掲載状況 商店街 168 店、飲食店 32 店、企業 24 社
市役所、商工会議所、観光協会等 23
アクセス数 14,779 件 (3/30 現在)

【 効 果 】

空き店舗を活用し事業を実施したため商店街の個店のつながりができ、商店街の景観がよ

くなった。

チャレンジミニショップ、おかみさんカフェ、自由市場ごっこ屋を空き店舗を活用して実施したことにより人通りが増え中心街への集客の誘因になった。特に歩行量調査では全体で9%減少している中で、事業を実施した通りとなる銀座通りが前年に比べ約14%増加したのは、他の要因もあるが特筆できる結果となった。また、事業実施により普段中心商店街にこない人もフリーマーケットやおかみさんカフェに来る等新たな客層を増やすことができた。

公式サイト K-mint により商店街の個店情報はじめイベントや観光情報等各種情報の提供により中心商店街の認識が深まった。

チャレンジミニショップの3店では、1店が中心商店街で出店が決定し、1店が出店を計画しており、さらにウィクリショップから1店出店が決定しており予想以上の効果があった。おかみさんカフェは、休憩の場所として認知され、提供したメニューが安価なため、高校



自由市場ごっこ屋の店内

生やお年寄りまで幅広く利用され希望する声も多く中心商店街の集客に寄与した。

この他イベント開催時には多くの市民が来街し賑わいをみせ、本事業実施により中心商店街個店の意欲も高まり中心商店街の活性化を図ることができた。

【課題・反省点】

今回実施したチャレンジショップの店舗は手狭だったため、今後は5~6店が入居できる坪数の店舗が必要であり、入居者の取扱商品もバラエティに富んだほうが集客効果が高まるとの意見があり、今回の事業を参考に若い人が集えるチャレンジショップにすることが必要である。イベントについては集客効果が非常に大きく、販促につながるイベントを研究すべきである。

K-mint については、必要な情報を迅速に提供できるかが課題である。

おかみさんカフェについては、市民に認知されてきたので週1回だけでなく1回でも多く開店できる体制作りが課題である。

【関連URL】

北見商工会議所 <http://www.okhotsk.or.jp/syokokac/>